

こがしらちゅうまえ
④河頭中前

凡例	早瀬	淵	止水
草地	樹林	裸地	構造物



ポイント①河原
砂地は、カメ類が産卵に利用します。



ポイント②オオカナダモ群落
稚魚やエビ・カニ類のかくれ家として利用されます。

ポイント③ナマス
大型魚が見られるのは、たくさんエサ(小魚など)があるということです。

●河頭中前の環境について(甲突川中流)

全体的に深く、水深2.0mをこえる淵が見られます。その他早瀬や溜まり、沈水植物群落など、水域の環境の多様性が特徴です。タカハヤ、ナマス、ゴクラクハゼなど、上・中・下流域の魚類が見られます。また毎年甲突川漁業協同組合によるアユの放流事業が行われており、アユ釣りが盛んな地域です。

かごしま
⑤鹿児島アリーナ前

凡例	早瀬	淵	止水
草地	樹林	裸地	構造物



ポイント②メダカの生息
水際のツルヨシ群落が利用されています。本来は水田や小川に生息します。



ポイント①浅い水深
魚をエサとする鳥類(ミサゴなど)が、ボラなどを確認しやすい。



ポイント③橋下の淵
まわりが浅いため、コイやスズキなどの大型魚類が利用します。

●鹿児島アリーナ前の環境について(甲突川下流)

全体的に浅く、流れはゆるやかです。橋の下の淵には、コイやスズキなど大型の魚類が潜んでいます。水際のツルヨシ群落は、稚魚やヌマエビ類のかくれ家のほか、洪水時の避難場所としても利用されていると考えられます。散策路を中心に、多くの市民に利用されています。